

特長

- 暗闇でセンサーが人や車の動きを検知して自動点灯
- 軒下などの屋外に設置できる防雨仕様(IP44 防沫形)
- 乾電池式なのでコンセントがない場所に設置でき、電気代もかかりません
- LEDなので省エネなのに明るい
- 低赤外線・低UVで発熱が少なく虫も集まりにくい光

仕様

検知方式	赤外線受動式
電 源	単二形アルカリ乾電池×3本(別売)
電 池 寿 命	約20ヶ月(1日10回点灯時) ※アルカリ乾電池使用時 ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。
光 源	白色 LED ※LEDの交換はできません
全 光 束	170lm
点灯保持時間	約10秒(固定)(暗闇で人を検知すると自動で点灯し、約10秒後に自動で消灯します。) ※点灯中に人を検知すると点灯し続けます。
点灯開始照度	約4lx
保護等級	IP44(防沫形)
使用周囲温度範囲	-20℃~+40℃ ※電池の特性上、周辺温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮されず、電池寿命が短くなる場合があります。
外形寸法(約)	幅77×高さ127×奥行111(mm)(最大値)
質 量	約140g(電池除く)
付 属 品	取付ネジ 2本(Φ4×38mm)、 コンクリート用スリーブ 2本(Φ6×30mm)、 マスキングカバー 1個

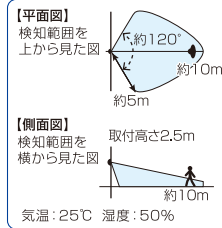
使用上のご注意

- 大量の水(ゲリラ豪雨や台風の雨など)が直接かかる場所への設置は避けてください。
- 引火しやすい物や燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 分解・改造はしないでください。
- 点灯中のライトを直視しないでください。



センサーの検知範囲

検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。



- 本品直下は検知できない場合があります。
- 検知範囲は付属のマスキングカバーで調整(狭める)できます。
- 検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。

- 人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
- 人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
- センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。
- 以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。
- 風などでゆれる植物やカーテン等の近く
- エアコン等の送風を受ける所、光の反射を受ける所
- ガラスや壁紙の所、強い振動を受ける所
- 取付高さが3m以上の所、車の通る道路や人通りの多い所
- 電波の強い所

⚠️ ご注意

- 本品は人を検知しライトを点灯させる機能を持っていますが、侵入・盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した被害、損害につきましては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本品は持込修理での保証対象製品となり、出張修理などの対応はいたしかねます。また万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替いたします。工事費用などの別途費用が発生いたしましても補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 詳しくは付属の取扱説明書をご確認ください。

オーダーNO. **1958-1** MADE IN CHINA

ELPA 朝日電器株式会社

〒574-0053 大阪府大東市新田旭町4-10 <http://www.elpa.co.jp/>
お客様窓口 大阪 072(871)1166 東京 042(473)0159

電池別売
単二形乾電池
×3本使用



AI180330A

ELPA

取扱説明書

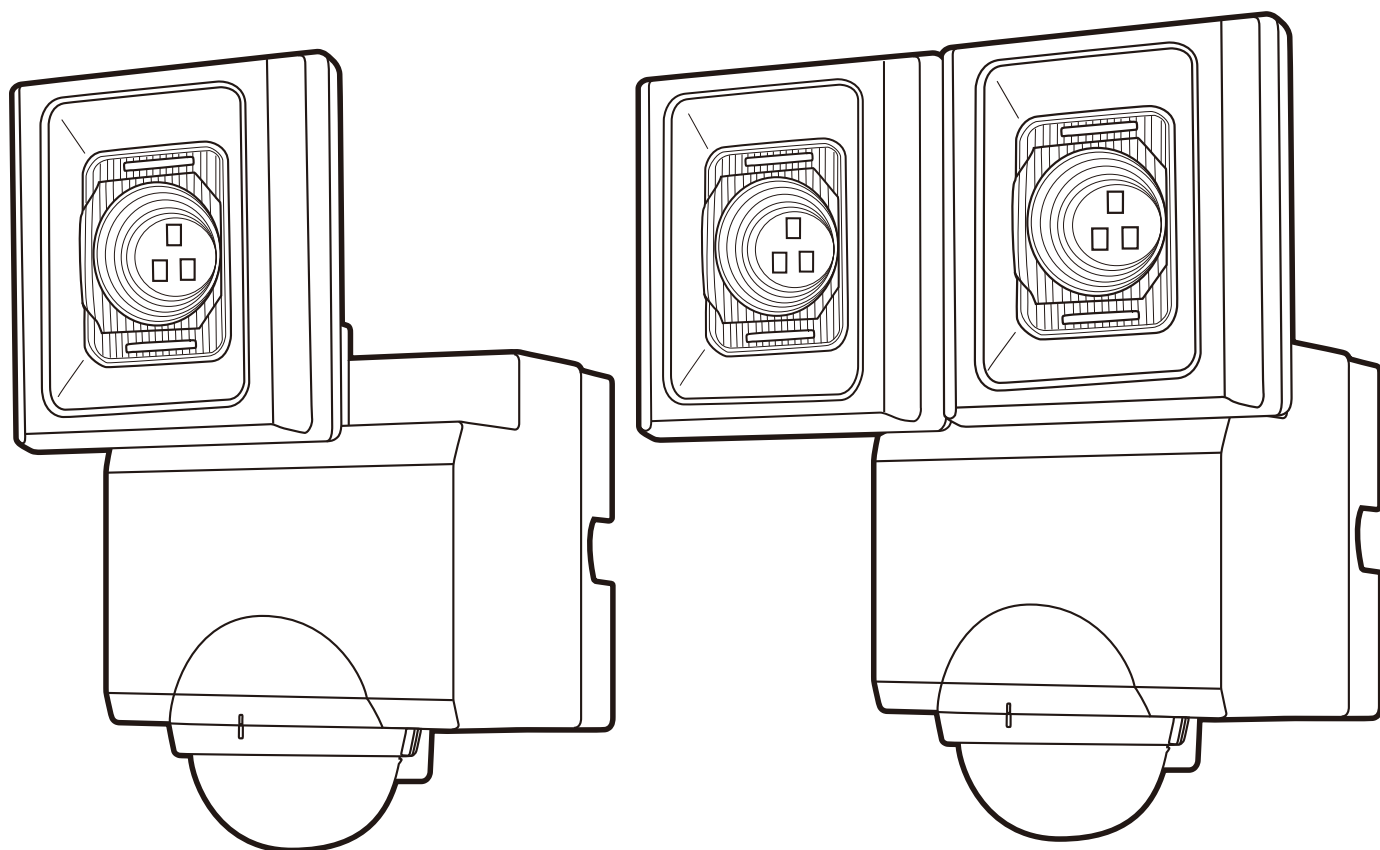
保証書付

乾電池式 LEDセンサーライト

品番

ESL-N111DC

ESL-N112DC



お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。



本品は強盗、盗難、空巢などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。

万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

1 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。	 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

警告

- 点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。また、人が容易に手を触れる事が出来る2m以下の場所には設置しないでください。
- 燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。昼でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 本品は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、**大量の水(ゲリラ豪雨や台風の雨など)がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。**
※防雨構造はIP44電気機械器具の保護等級に適合します。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 感電の恐れがありますので、乾電池を交換される際は濡れた手で本体に触れないでください。また本体が雨などで濡れている場合も触れないでください。
- 分解・改造しないでください。また指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

電池について

- 電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。
- 火中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 指定された種類以外の電池は使用しないでください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 使用済みの電池は必ず本体から取り出してください。
- 長期間ご使用にならない時は、電池を取り外して保管してください。
- 新・旧および異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 外装フィルムのはがれた電池は使用しないでください。

注意

- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けしないでください。
- 本品をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取り付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。

電池について

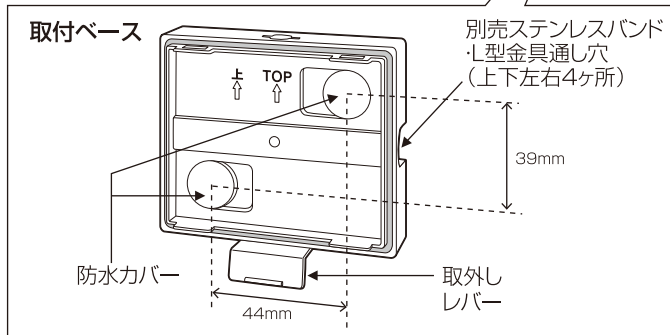
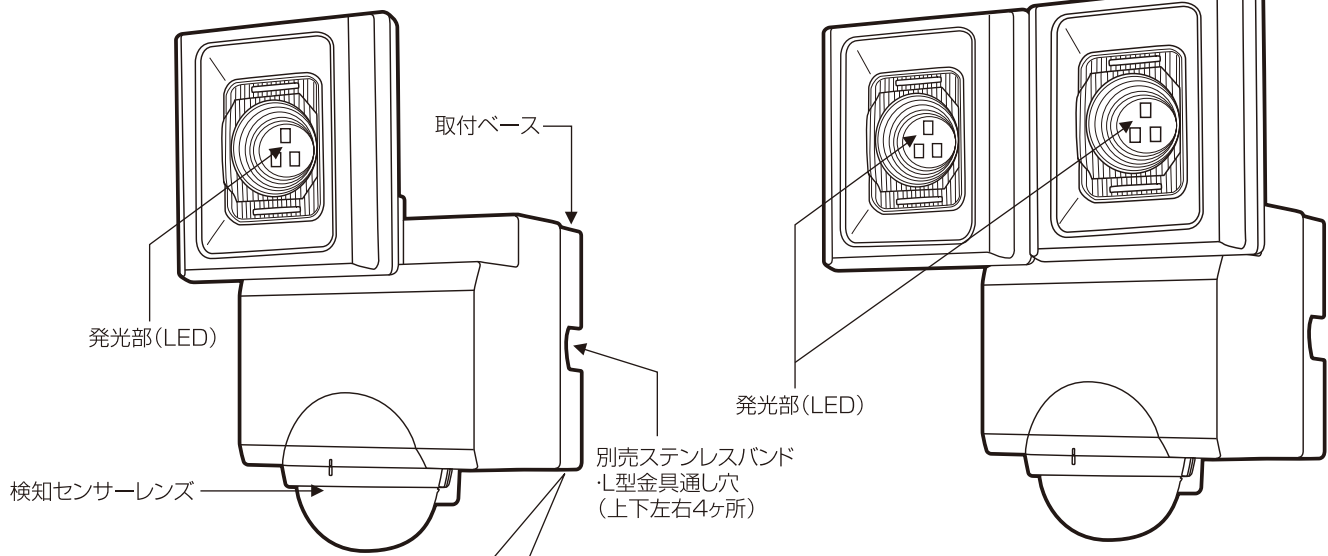
- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。
- 電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。
- 使用済みの乾電池は環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域の所定の方法で処分するか、乾電池の回収を行っている販売店にお持ちください。

2 各部の名称と付属品

本体

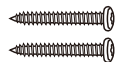
ESL-N111DC

ESL-N112DC



付属品

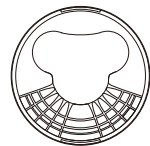
● 取付ネジ(2本)
($\phi 4 \times 38\text{mm}$)



● コンクリート用
スリーブ(2本)
($\phi 6 \times 30\text{mm}$)



● マスキングカバー(1個)

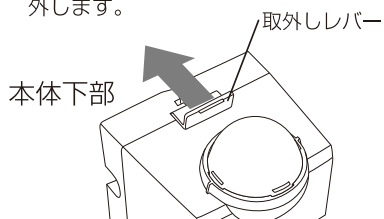


3 電源の準備

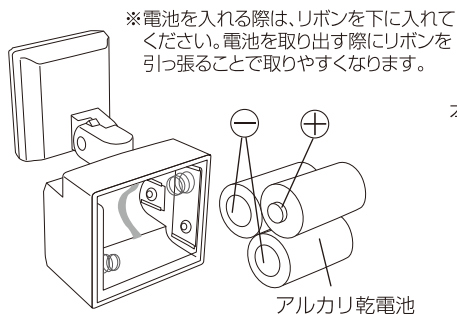
使用電池: 単二形アルカリ乾電池×3本(別売)

※電池交換の際も同様の手順でおこないます

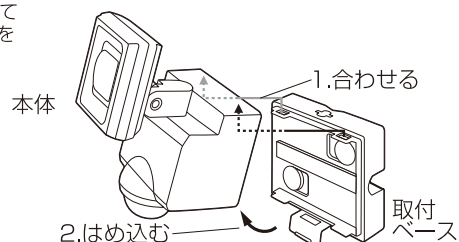
① 取付ベースの取外しレバーを矢印の方向に引いて本体から取付ベースを外します。



② 電池ケース内の \oplus \ominus 表示を確認して、単二形アルカリ乾電池を3本セットします。



③ 先に本体上部と取付ベースの上部を合わせてから、下部をはめ込みます。



取付ベースをはめ込む際は指などを挟まない様ご注意ください。

※マンガン乾電池、単二形充電電池を使用すると正しく動作しない場合があります。

点灯時間が短くなったり、点滅したり、点灯しなくなった場合は、全て新しい電池に交換してください。

ウォームアップとテストモードについて

① 乾電池をセットします。
ウォームアップ(初期安定動作)が開始され周囲の明るさに関係なく約45秒間ランプが点灯します。
※ウォームアップはセンサーが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。

② ウォームアップ消灯後、すぐに周囲の明るさに関係なく約10秒間のテストモードに移行し、センサーが反応すると約2秒間点灯します。
※テストモードの間に点灯すると、テストモードが延長します。
※テストモードが終わらない場合は付属のマスキングカバーを取り付けてください。
(⑤各種調整 参照)

③ テストモード終了後、暗い場所でセンサーが反応すると約10秒間ランプが点灯する通常状態となります。
※点灯中にセンサーが反応すると点灯時間が延長します。
※明るい場所では点灯しません。
そのため、夜間であっても他の照明器具からの明かりが届く場所では点灯しません。

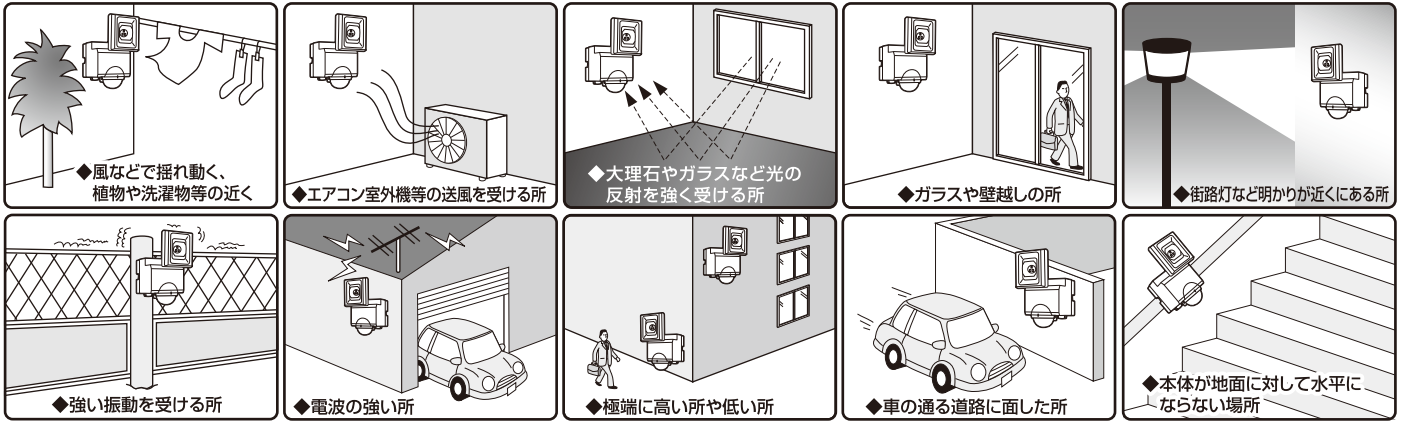
4 設置方法

△ 本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

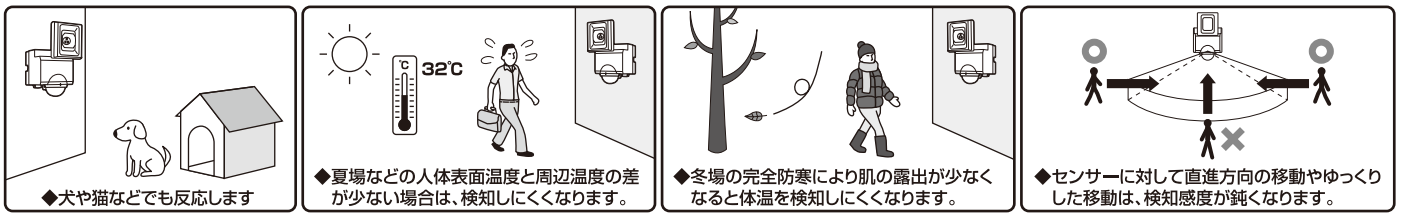
取り付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。

下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

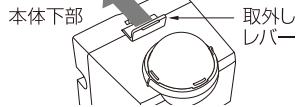


本体の取付方法

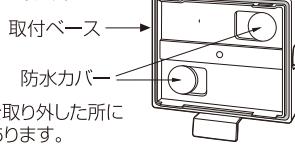
- △ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- △ 本品の設置（取り付け・取り外しなど）により生じた建物等への損傷やその他損害について当社は一切責任を負いません。

ネジでの取り付け

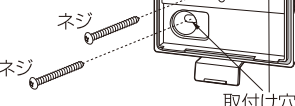
① 取付ベースの取外しレバーを矢印の方向に引いて本体から取付ベースを外します。



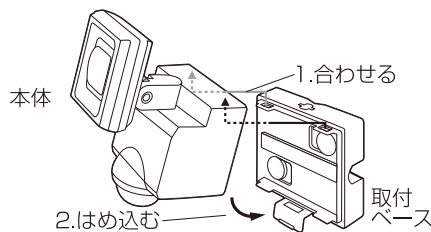
② 防水カバーを取り外します。



③ 取付ベースを付属のネジで壁に固定し、防水カバーを再び取り付けます。



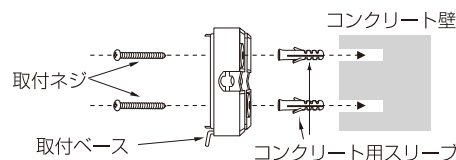
④ 先に本体上部と取付ベースの上部を合わせてから、下部をはめ込みます。



取付ベースをはめ込む際は指などを挟まない様ご注意ください。

コンクリート壁への取り付け

あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。

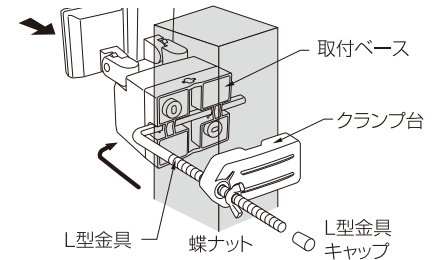


別売クランプでの取り付け

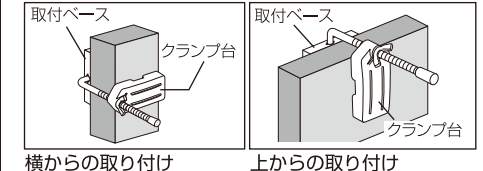
(弊社型番ESL-CS)

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

- ① 取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差し込みます。
- ② L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
- ③ L型金具の余った部分に別売クランプに付属しているL型金具キャップをかぶせてください。



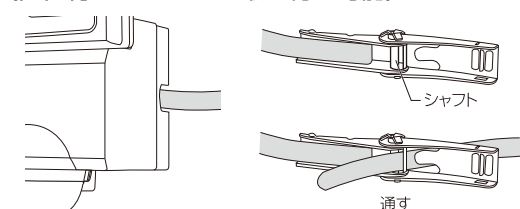
クランプによる取り付け例



別売ステンレスバンドによる取り付け

(弊社型番ESL-SB)

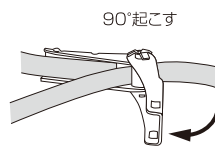
(直径約260mmまで取り付け可能)



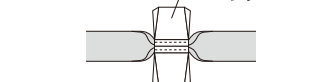
① 取付ベースのステンレスバンド通し穴(上下または左右の2箇所)にステンレスバンドを通します。

② バンドを取付箇所(ポールなど)に巻付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

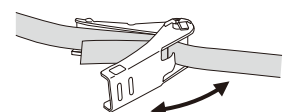
③ バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。



④ 仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド端は外に出ません。



※ 図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。



⑤ ハンドルを反復回転させる。(ラチェット機構なのでバンドを巻取る) ※ 締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。



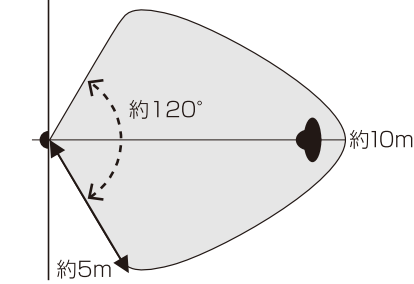
⑥ ハンドルをベースに重ねるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

検知範囲について

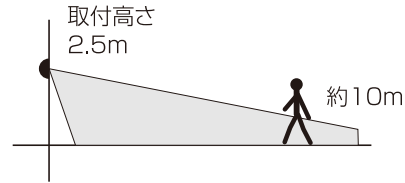
検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。

気温：25℃ 湿度：50%

【平面図】 検知範囲を上から見た図

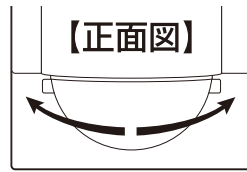


【側面図】 検知範囲を横から見た図



- ※本品直下は検知できない場合があります。
- ※検知範囲は付属のマスクングカバーで調整(狭める)できます。
- ※検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。
- 特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
- ※人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
- ※人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
- ※センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。
- ※以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。
- ・風などでゆれる植物やカーテン等の近く
- ・エアコン等の送風を受ける所
- ・光の反射を受ける所
- ・ガラスや壁越しの所
- ・強い振動を受ける所
- ・取付高さが3m以上の所
- ・車の通る道路や人通りの多い所
- ・電波の強い所

センサーレンズの検知方向の調節



左右各約90度

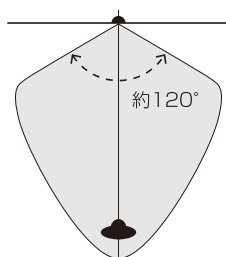
※故障の原因となりますので90度以上回さないでください。

マスクングカバーの使用方法(検知範囲の調節)

センサーの検知範囲を狭くしたい場合のみ、付属のマスクングカバーで調節してください。マスクングカバーを切り取らずに装着すると、センサーが極端に検知しなくなります。またセンサーレンズ自体を切り取ったり、傷つけないでください。※マスクングカバーを切り過ぎた場合は、ビニールテープなどを貼って調整してください。

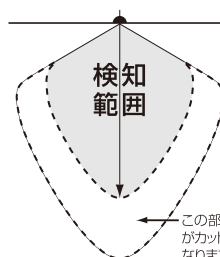
<例1> 検知距離を短くする

カバーを取り付けない状態



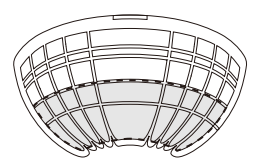
【検知範囲平面図】

検知範囲が短くなる



【検知範囲平面図】

切り取る部分

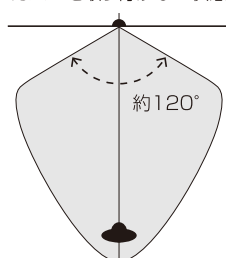


ニッパーなどを使ってマスクングカバーの下面を切り取ります。

この部分の検知範囲がカットされ距離が短くなります

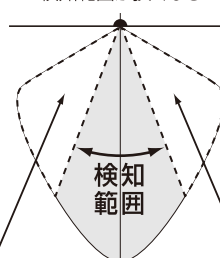
<例2> 検知角度を狭くする

カバーを取り付けない状態



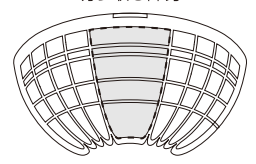
【検知範囲平面図】

検知範囲が狭くなる



【検知範囲平面図】

切り取る部分



ニッパーなどを使ってマスクングカバーの中央部分を切り取ります。

この部分の検知範囲がカットされ角度が狭くなります

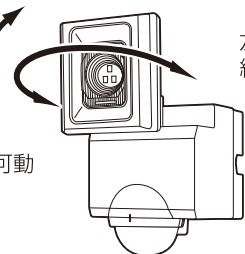
この部分の検知範囲がカットされ角度が狭くなります

照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右に照射角度を調整してください。

上方向
約30度
可動

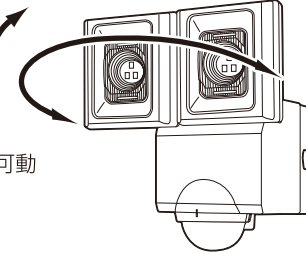
下方向
約60度
可動



左右各方向
約45度
可動

上方向
約30度
可動

下方向
約60度
可動



外側 約90度
内側 約40度
可動

※故障の原因となりますので右記角度以上に回さないでください。

※ESL-N112DCの灯体は左右単独で可動します。

6 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	電池が消耗している。	▶ 全て新品のアルカリ乾電池に交換してください。
	電源が正しく供給されていない。	▶ 電池を正しく入れてください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	▶ センサーの検知範囲に対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取り付け。 またはセンサーの角度を変更する。
	周囲が明るい。(夜でも周囲に他の照明器具がある)	▶ 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差が小さい。 非常にゆっくりとした速度で検知範囲に侵入している。	▶ 取付場所や検知範囲等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなる場合があります。
	検知範囲が遮られている。 ※ガラスや壁、扉越しには人の動きを検知できません。	▶ 検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。 マスキングカバーをご使用の際は、ズシや外れがないか取付状況を確認する。
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	▶ 本体は約2.5mの高さに垂直に設置してください。
	マスキングカバーが付いていませんか。	▶ マスキングカバーを外してください。
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	乾電池をセット後のウォームアップ時間中 ※回路を安定動作させるため、乾電池をセット後はライトが最长45秒間点灯したままになります。	▶ ウォームアップ時間が終了するまで、検知範囲の外に出て待機してください。
	何らかの物体にセンサーが反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	▶ 完全に検知範囲の外に出る。 検知範囲をマスキングカバーで狭い範囲に調整する。 取付場所を変更する。 乾電池を入れ直してください。
人がいないのに点灯する	検知範囲内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例) 風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	▶ 誤動作要因となっているものを検知範囲内から取り除く。 検知範囲をマスキングカバーで狭い範囲に調整する。
	検知範囲が道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。 風や車向の通行等により、センサーライトを取り付けている柱などが振動している。	▶ 取付場所を変更する。 振動の影響を受けない場所へ取付場所を変更する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを繰り返す)	電池が消耗している。	▶ 全て新品のアルカリ乾電池に交換してください。
	本品の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	▶ 光を反射する障害物を取り除く。
ライトが点いてもすぐ消える	電池が消耗している。	▶ 全て新品のアルカリ乾電池に交換してください。
	本品の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。 テストモードになっていませんか。	▶ 光を反射する障害物を取り除く。 ▶ テストモード(約10秒)終了まで検知範囲の外に出て待機してください。

7 仕様

	ESL-N111DC	ESL-N112DC
検知方式	赤外線受動式	
電源	単二形アルカリ乾電池×3本(別売)	
電池寿命 ※アルカリ乾電池使用時	約20ヶ月(1日10回点灯時)	約8ヶ月(1日10回点灯時)
	※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。	
光源	白色LED	
全光束	170lm	340lm
点灯保持時間	約10秒(固定)(暗闇で人を検知すると自動で点灯し、約10秒後に自動で消灯します。) ※点灯中に人を検知すると点灯し続けます。	
点灯開始照度	約4lx	
保護等級	IP44(防沫形)	
使用周囲温度範囲	-20℃~+40℃ ※電池の特性上、周辺温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮されず、電池寿命が短くなる場合があります。	
質量	約140g(電池除く)	約180g(電池除く)
付属品	取付ネジ2本(Φ4×38mm)、コンクリート用スリーブ2本(Φ6×30mm)、マスキングカバー1個	

※LEDの交換はできません。
 ※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。
 ※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
 ※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

8 外形寸法図

